

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和 元年 5月 9日
発信課	防災安全部交通防犯課
担当者	宮崎
連絡先	電 話 25-6215(直通)
	FAX 25-9835
	E-mail s_miyazaki@city.asahikawa.hokkaido.jp

分 類	イベント・行事
日 程	5 月 14 日
発表項目 (行事名)	北海道旭川商業高等学校 交通安全教室
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>1 目的 日常的に自転車を利用する機会が多い高校生に対し、自転車運転のマナー向上を呼びかけ、交通安全意識の高揚及び交通事故防止を図る。</p> <p>2 日時 令和元年5月14日(火) 午後2時00分から午後3時00分</p> <p>3 場所 旭川商業高等学校グラウンド ※雨天時は体育館</p> <p>4 内容 別紙のとおり</p> <p>5 主催・協力 主催:旭川商業高等学校 協力:旭川中央警察署, 北海道クミアイ自動車学校, 旭川市防災安全部交通防犯課, 旭川市消防本部指令課</p> <p>6 参加者 旭川商業高校全校生徒700名及び教職員, 旭川中央警察署交通第一課職員, 北海道クミアイ自動車学校講師, 旭川市防災安全部交通防犯課職員</p> <p>7 その他 雨天時は体育館にて別カリキュラムで行う。</p>
添付資料	<p>有 (実施要領)</p> <p>※ 有の場合、資料の内容を記入すること。なお、別途冊子等の配付を希望する場合は、その旨記入すること。</p>
報道(取材)に 当たってのお願い	
備 考	

令和元年度 旭川商業高等学校交通安全教室 実施要領

1 目的

日常的に自転車を利用する機会が多い高校生に対し、自転車運転のマナー向上を呼びかけ、交通安全意識の高揚及び交通事故防止を図る。

2 日時

令和元年5月14日（火）

午後2時00分から午後3時00分

3 場所

旭川商業高等学校グラウンド ※雨天時は体育館

4 内容

- (1) 開会
- (2) 講師紹介
- (3) 実技・講演（詳細は別紙参照）
- (4) 代表生徒挨拶
- (5) 閉会

5 主催・協力

主催：旭川商業高等学校

協力：旭川中央警察署，北海道クミアイ自動車学校，

旭川市防災安全部交通防犯課，旭川市消防本部指令課

6 参加者

旭川商業高校全校生徒700名及び教職員，旭川中央警察署交通第一課職員，

北海道クミアイ自動車学校講師，旭川市防災安全部交通防犯課職員

7 その他

雨天時は体育館にて別カリキュラムで行う。

1 開会

2 講師紹介

3 実験開始

実験1：イヤホン使用時の危険性について

内 容：2名の生徒がアイマスクをした状態で横並びに立ち、後方より乗用車で徐行しながら接近し、近づく車を認識するまでの差がどの程度あるか認識する。1回目はイヤホンを使用し、音楽を聴いている状態、2回目はイヤホンをしていない状態で行う。

実験2：並進の危険性について

内 容：一般的な歩道を模した3.5m幅のコースにおいて、3名の生徒が並んで歩いている横を、並進する3台の自転車が追い越し、その危険性について認識する。2回目は自転車は1列で追い越し、安全であることを確認する。

実験3：自動車の挙動把握実験

内 容：大型車による、免許を持たない高校生に自動車の動きを把握してもらうための実験。

実験4：自転車衝突実験

内 容：乗用車を自転車に衝突させどの程度の衝撃があるか認識する

実験5：事故に遭遇した場合の対処方法

内 容：代表生徒が定位置に向かうタイミングで事故（自転車が乗用車に衝突）を再現し、消防への訓練通報を交えて、事故に遭遇した場合の行動を認識する。

4 総括 旭川中央警察署

5 生徒代表挨拶

6 閉会

1 開会

2 講師紹介

3 実験開始

実験1：自転車の安全な運転方法について

内 容：自転車シミュレータを使用し、様々な危険を実際に体験しながら、自転車の安全な運転方法を学ぶ。

実験2：事故に遭遇した場合の対処方法

内 容：自転車シミュレータで事故を再現し、代表生徒が事故現場に居合わせた設定で、消防119番への訓練通報を交えながら、対応について学ぶ。

4 DVD鑑賞

講話・総括 旭川中央警察署

5 生徒代表挨拶

6 閉会